

取中 取中の未来 通信

国語 数学 社会
理科 英語 音楽
美術 技 家 保体

今週水曜日に3年生は最後の実力テスト(第5回)、1・2年生はチャレンジテストが実施されました。結果や手応えはどうでしたか?次のテストは2月10日(火)。3年生は私学入試、1・2年生は復習テストです。しっかりと準備をし、入試やテストに備えてください。備えあれば憂いなしです!

■1月21日(水)取石中学校公開授業開催

下記の内容で実施いたします。大阪府内の教職員にむけて、取石中学校の取り組みを公開いたします。生徒のみなさんは15時一斉下校となります。放課後のクラブ活動はありません。

1. 研究主題 取中授業のスタンダードの確立

「考える授業」の構築～思考ツールを活用して～

2. 日 時 令和8年1月21日(水)

(1) 受付

13:20～

(2) 公開授業 ①「TORIタイム」

13:50～14:00

公開授業 ② 研究テーマに則した教科授業

14:05～14:55

(3) 実践報告ならびに質疑応答・指導講評 15:50～16:50

指導講評および講演 大阪大谷大学教育学部教職教育センター長 岩井 晃子 特任教授



■今年の干支は『午(うま)』その②

●馬にまつわる諺(ことわざ)

「人間万事塞翁が馬」[意味]人生の幸不幸は予想しがたく、何が吉と出るか凶と出るかわからない。

「馬の耳に念仏」[意味]いくら意見しても効果がないこと。

「瓢箪から駒」[意味]思いがけないところから意外なものが出ること。 などなど

●馬にまつわる四字熟語

「天馬行空」[意味]自由奔放で、何事にもとらわれないこと。

「駑馬十駕」[意味]才能のない者でも努力すれば、才能のある者に追いつけること。

「千軍万馬」[意味]経験豊富で、頼りがいのある人物をさす。

「馬耳東風」[意味]人の意見や批判を全く聞き入れないこと。

→馬は古くから人間の生活に深くかかわってきたため、その特徴や行動から様々な教訓や比喩が生まれました。



■1月17日、阪神・淡路大震災から31年です。

明日(1月17日)、「阪神・淡路大震災」が発生してから31年を迎えます。あの震災を知っている世代の方々は「もう、30年以上も経つのか…」と感じられる方も多いかもしれません。記憶に新しい「能登半島地震」や昨年12月8日に発生した「青森県東方沖地震」(M7.5)など、日本列島は地震活動が活発な状況が続いています。南海トラフ巨大地震の発生確率も昨年10月、「今後30年以内に80%程度」であったものが「今後30年以内に60～90%程度」(他地域での地震をモデルで計算した20～50%も併記)に見直されました。正直不安な気持ちになりますが、私たち大人もこれからの未来を担う子どもたちも、『防災』『減災』を考えていくことも、大きな学びではないでしょうか?この週末、ご家族や友人らとともに話しをする機会があればいいですね。